

# 私に話しかけて

これは、重度の学習障害や自閉症があつて、言葉を話さない子どもやおとなと、その人の身体言語を使って会話するインテンシブ・インタラクションの簡単な手引きです。

著 フィービー・コールドウェル

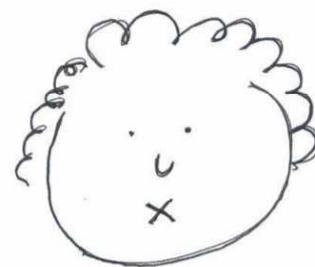
協力 サイモン・ウィラン

訳 池田真規子

私は話せない。でもそれは、あなたに話しかけたくないという意味ではありません。話そうとはするのです。腕を振ったり、泣いたり、唸り声を出したりして。

でも、誰も答えてくれない。だから、自分自身に耳を傾けるのです。

私はとっても寂しい。誰かが話しかけてくれたら、どれほどうれしかい。



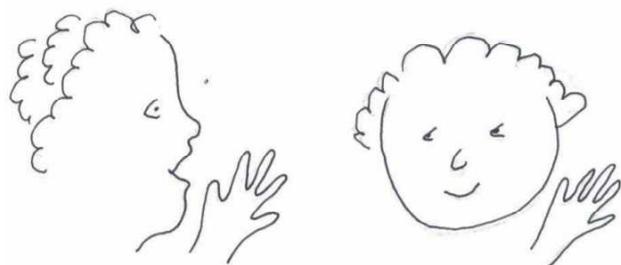
私は自分の指が動くのを見つめ、唸り声や泣き声に耳を傾けます。物を叩くこともあります。

「は一、は一」という呼吸のリズムを聞くことに集中していることもあります。静かなので、あなたには聞こえないかもしれませんが。

あなたは私と話したいですか？

だったら、私がどんなふうに自分と話しているか、よく見て、聞いてください。これが私の理解できる言葉なのです。

もし私が腕を振っていたら、振り返して！



もし私が唸ったり、悲鳴をあげたり、泣いたりしていたら、あなたも唸ったり、悲鳴をあげたり、泣いたり、あるいは、私が理解できる何か別の仕方で答えてください。

もし私が紙を破ったり、くるくる物を回していたら、私と一緒にやってください。

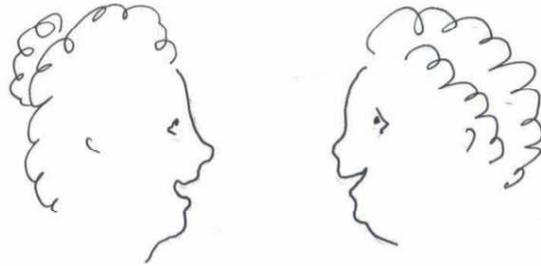
もしあなたがそうしてくれたら、私はとても大切なこと学ぶでしょう。つまり、私が何かを言ったりやったりすると、私にとって何か意味のある答えが返ってくる、ということ。

そして、私は理解します！ あなたは私をまねているわけではなく、ただ言葉を使わないというだけで、あなたが他の人と話しているように、私に返事をしてくれている、ということ。

あなたは私の注意を引きます。

そして、私たちのどちらにも意味のある仕方でも話し始めることができます。

私が見て、ほほえんだり声を立てて笑ったりして、どれほど喜んでいるか、あなたにはわかるでしょう。もし、顔をそむけたら、いまは話を聞く気がないときかもしれません。でも、私はベストを尽くしてあなたに耳を傾けるでしょう。



お互いに話すことが上手になってきたら、気をつけてほしいことがあります。

私がしていることのリズムと中身に合わせようとしてみてください。そうしてもらえると、とても認識しやすいのです。

でも、興奮させ過ぎないで。あまり熱心に相手をしてもらおうと、私はすぐハイになってしまうのです。会話は楽しみたいのですが、やり過ぎないでください。

私が見て、あなたにどんなふうに答えているかを観察してください。一見同じように唸ったり手をバタバタさせていても、その仕方の違いによってどんな気分であるかが分かるはずですよ。

もし私が幸せな気分なら私の動きは穏やか。もしドキドキしていたら私の動きは荒々しい。

ふたりの会話が上手になると、私がときどき違った応答をしてほしいことに気がつくでしょう。例えば、私が唸り声をあげたら、唸り声でなくコツコツと叩くことで応えてほしいくなります。すると私は、自分が出している声のリズムを認識できます。これはクロスモーダルな応答と言いますが、そうしてもらったほうが認識しやすい場合があるのです。でも、私が何かするたびに、どう返事をしたらいいか見つけてください。

もしあなたがこの手引きに書かれたことを実践してみると、「ほんとだ、お互い話することができるんだ」ということがわかるでしょう。私は私の身体言語を通してあなたに気持ちを伝えることができるし、あなたはあなたの身体言語を通して私に気持ちを伝えることができます。

**私たちは喜びを分かち合うことができます。  
それだけではなく、  
あなたは私の人生を変えることができます！**